

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

☆組織改編・・・植物管理室は、2019年4月より統合生命科学研究科・附属宮島自然植物実験所の所属となりました。

### FN:キャンパスにサクラを植えよう!



2月26日、総合博物館のフィールドナビ・キャンパスの里山管理の活動として、サクラの植栽を行いました。

当日は、職員、学生18名が参加して、8種23本のサクラの苗木を西図書館南側駐車場周辺に植え付けました。植穴には、キャンパスの落ち葉で作った堆肥も入れました。



施設部・保全チームのみなさんが、2週間前から準備を進めてくれました。

### 栽培実習・秋コース



タマネギ苗の定植やたくあん作りも体験しました。

R2年秋コースは、コロナ感染対策に配慮して、予定通り終了しました。今回は試食会を行うことができませんでしたが、収穫した野菜はみなさん持ち帰って美味しく食べられたようです。今年は特にダイコンの出来が良く、楽しい収穫作業となりました。



たくあんの本漬け

### キャンパスのコケ類 東広島キャンパスでは、100種類以上のコケ類を観察できます。

コケは、蘚苔植物と呼ばれ、スギコケなどの蘚類、ゼニコケなどの苔類、ツノコケ類の3分類群に大別されます。コケは、自然林のなかだけでなく、キャンパスのアスファルトの道端など、いたるところに生えています。東広島植物園周辺で普通に見ることの出来る蘚類のコケをいくつか紹介します。ぜひ、探してみてください。コケの観察には10~20倍のルーペがあるとより詳しく見分けることができ便利です。



トヤマシノゴケ

ハイゴケ

- ◆トヤマシノゴケは、シダのシノゴケを小さくしたような姿が特徴。
- ◆ハイゴケは、日当たりのいいところで見られ、苔玉の材料となる。

- ◆ヒロハツヤゴケは、木の根元や岩上に生え、群落全体に光沢がある。
- ◆エノスナゴケは、湿ると瞬時に葉が開いて美しい星型に見える。



ヒロハツヤゴケ

エノスナゴケ

### 樹木プレート設置

植栽樹木調査と並行しながら、ネームプレートの取り付けが始まりました。今回は、理学部、法・経済学部、文学部、中央図書館前を中心に作業を行いました。



CSRの学生ボランティア

ネームプレートにはすべてQRコードがつけられており、デジタル博物館のホームページで情報を得ることができます。



総合博物館にて発注していただいたオリジナルのネームプレートを11月6日に35枚、2月18日、19日に170枚取り付けました。今後は、月一回のペースで取り付けを行っていきます。みなさんのご協力をお願いします。



支柱タイプもあります

### 学童保育の焼き芋・しめ縄作り

12月28日に、学童保育の子どもたち6名が焼き芋としめ縄作り体験を行いました。今回はやや少なめの参加でしたが、指導員の学生さんたちと一しょに体験を行い大変盛り上がりました。この企画に毎年参加してくれる子どもたちもいて、年々しめ縄作りが上手になっていきます。



### 園内の花

#### シマサンゴアナス *Aechmea fasciata*



パイナップル科  
ブラジル原産の着生植物。園芸品種も多く作られ、エクメアとして広く流通している。花は紫色ですくく萎れるが、苞は桃色で長く楽しむことが出来る。

### 園内の樹木

#### ハカマカスラ *Phanera japonica*



マメ科  
長さ数mにもなるつる性の常緑樹。和歌山、高知、九州から沖縄に分布する。葉が幅広い単葉で先端が窪み、その形を符に見立て名がついた。種子は数珠などに使われる。



【お問い合わせ先】

広島大学 統合生命科学研究科  
東広島植物園

TEL:082-422-7111  
(内線2842)

E-mail : tshioji@hiroshima-u.ac.jp